

令和5年度

The degree of 2023 home Akita  
"agriculture, forestry and fisheries" grand prix

# ふるさと秋田 農林水産大賞

受賞者の紹介

Agriculture,  
forestry and fisheries



## 産地部門

**JAこまち 花卉部会**

(湯沢市／農林水産大臣賞・農林水産大賞)

## 担い手部門

【経営体の部】

**農事組合法人平沢ファーム**

(秋田市／農林水産大賞)

【未来を切り拓く新規就農の部】

**亀山 春樹**

(北秋田市／農林水産大賞)

**黒澤 宏嘉・絵美子**

(横手市／農林水産大賞)

## 農山漁村活性化部門

**特定非営利活動法人**

**ふじさと元気塾**

(山本郡藤里町／農林水産大臣賞・農林水産大賞)

秋田県

## 産地部門



### JAこまち 花卉部会

県内トップで発展を続けるトルコギキョウ産地

所在地/湯沢市

品目/トルコギキョウ

栽培規模/460a

部会員数/50名(うちトルコギキョウ生産者24名)



当地域でのトルコギキョウ栽培は、昭和60年代に県内でいち早く始まりました。平成11年にトルコギキョウ生産者を主体に部会を発足

し、栽培技術の研鑽と生産拡大を進め、令和4年には過去最高の販売実績を達成しました。

ハウス内二重カーテン被覆とトンネル被覆を併用した越冬作型、シェード栽培や夜間電照を取り入れた抑制作型など、出荷時期に対応した栽培作型を組み合わせ、6月から11月までの長期出荷を実現しているほか、集出



荷所に予冷庫を整備し、輸送中の品質保持にも取り組んでいます。

出荷最盛期前には取引市場に出向き、フェアを開催して産地の評価や消費者ニーズを聞き取るなど、生きた情報を入手することで産地の発展につなげています。



## 担い手部門



【未来を切り拓く新規就農の部】

### 亀山 春樹

水稲をメインとした若手法人経営者の挑戦

所在地/北秋田市

品目/水稲、大豆、そば等

作付面積/水稲15ha、畑作物(大豆、そば等)3ha



幼少期から祖父の農作業を手伝ってきた亀山さんは、平成30年に就農し、水稲と露地野菜による農業経営をスタートしました。

周囲からの作業依頼も増えてきたことから、令和5年に自身が代表となる「合同会社 穂<sup>あき</sup>」を設立して規模拡大や雇用環境の整備に取り組んでいます。大規模経営の実現に向け、GPSを活用して代かき等の機械作業を行うなど、スマート技術を積極的に導入し、省力化と高精度化を実現しています。



販売面では、独自に業務用米の販路を開拓し、メーカーとの契約栽培に至りました。メーカーが指定する「つきあかり」は、北秋田市内での栽培事例がなかったため、自ら管理技術を確立して安定生産を実現し、実需者ニーズに対応しています。



## 担い手部門



【経営体の部】

### 農事組合法人平沢ファーム

みんなのファーム～園芸メガ団地による地域活性化～

所在地／秋田市

品目／水稻、大豆、えだまめ、ねぎ、ダリア

作付面積／水稻38.7ha、大豆42.9ha、えだまめ8.3ha、  
ねぎ1.9ha、ダリア1.6ha

構成戸数／77戸



高齢化等により管理が困難な農地が増加する中、ほ場整備を契機に、「みんなのファーム」を旗印として、平成26年に集落型農業法人を設立しました。現在は、水稻や大豆を主力作物としつつ、園芸メガ団地を拠点として、えだまめ、ねぎ、ダリアの生産も拡大し、経営の複合化を実現しています。

新鮮な朝採りえだまめは、JA出荷に加え、直売所での販売も行うなど、地元消費者のニーズに対応した販売に

取り組んでいます。



取り組んでいます。

また、地域における雇用の受け皿として、定年退職者や地域内外の若手人材を積極的に雇用しているほか、小中学校の体験学習やインターンシップを受け入れるなど、新規就農者の確保と法人経営の安定化を図っています。



## 担い手部門



【未来を切り拓く新規就農の部】

### 黒澤 宏嘉・絵美子

家族への思いとトマト栽培にかける人生

所在地／横手市

品目／トマト、みつば

作付面積／トマト17a、みつば10a



長男の誕生を契機に“家族と一緒にいる時間を大切にしたい”との思いで東京からAターンした宏嘉さんは、「地域で学べ！農業技術研修」修了後の平成29年に、パイプハウス4棟でトマト栽培を始めました。

東京での生活と異なり、食事や休憩時は家族と過ごせる喜びを感じながら、トマト栽培に真摯に向き合い、就農1年目から地域の平均単収を上回る成果を上げました。絵美子さんも宏嘉さんの懸命に働く姿に感銘を受

け、一緒に働くことを決意しました。



け、一緒に働くことを決意しました。

ハウスを増設し、アルバイトも雇用するなど、更なる収益向上を目指しており、令和3年には、高い単収が認められて JA 秋田ふるさとトマト部会の最優秀生産者として表彰を受けるなど、新規就農者の目標になっています。



## 農山漁村活性化部門



### 特定非営利活動法人 ふじさと元気塾

「南白神の里」に多くの人を呼び込もう!

所在地/山本郡藤里町

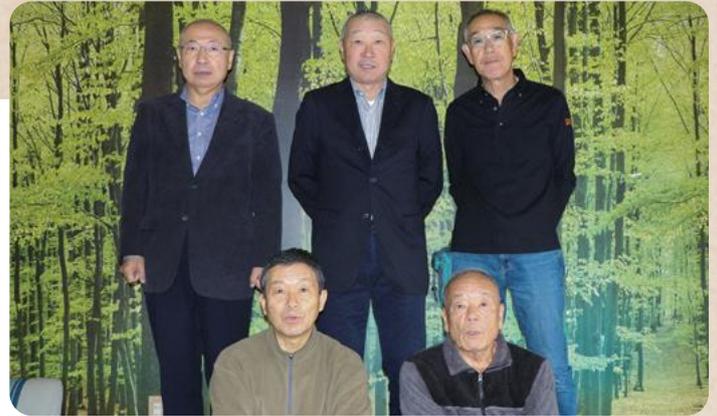
会員数/正会員25名、賛助会員45名



平成22年に、棚田やホタル生息地などの保全活動を目的として、法人を設立しました。活動を通じて藤里町粕毛地域の魅力を再認識した

ことを契機に、地域を元気にしたいとの思いから、農泊・農村体験やイワナ養殖などの取組を始めました。

中でも農泊事業は、地元のお母さんたちの協力を得て行われており、田舎暮らしや料理を体験できる農家民宿と、空き家をリノベーションした一棟貸しの「南白神ベース」は人気が高く、海外からの旅行者も訪れています。



世界自然遺産白神山地の麓で、季節に応じた様々な農村体験を堪能してもらうため、民間企業と連携し、地元小学生や県内外の大学生・留学生などと、世代や地域を越えた交流活動を行っています。



## [ 大賞の概要 ]

先人が作り上げた美田や農産物、豊富な森林資源などを次の世代に受け継いでいくため、「ふるさと秋田農林水産ビジョン」の目指す姿の実現に向けて、模範となる活動を展開し、顕著な実績を上げている農林漁業者等を表彰するとともに、その取組を広く普及し、魅力ある農林水産業と農村漁村づくりを推進します。

## [ 各部門の表彰対象 ]

### 産地部門

産地の特徴を活かし、積極的な産地拡大に取り組む農業者等で組織する集団

### 担い手部門

#### 【経営体の部】

農業・漁業経営で優良な実績を上げ、地域のモデルとなる個人や法人等

#### 【未来を切り拓く新規就農の部】

地域の担い手として、活躍が見込まれる新規就農者や農外からの参入者等

### 農山漁村活性化部門

6次産業化、食育、直売活動、耕作放棄地活用、グリーン・ツーリズム等、地域を活性化している法人、集落、集団等

